

令和元年度 自己評価報告書

令和2年5月26日
学校法人 明星学園
清泉幼稚園

《1. 本園の教育目標》

【幼児の創造性を育て、健康で心豊かな人間形成の教育】

- ◎よく遊び よく学ぶ
- ◎個性と自主性を育てる
- ◎創造の芽生えと豊かな情操
- ◎友達関係の深まりから社会性を育てる

《2. 本年度重点的に取り組む目標・計画》

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、教職員一同、子ども達ひとりひとりの「個性」を伸ばし、成長しようとする心のサポートを大切に、各学年の年齢や能力に応じたさまざまな活動の機会を与え、仲間との触れ合いや環境を活かした自然との触れ合いの中で健全な成長・発達を促せるようにする。

《3. 評価項目の達成及び取組状況》

評価項目	評価	取組み状況
幼稚園教育理念や子どもの実態に適した教育課程に基づいての計画性や保育教育のあり方	B	四季の変化に合わせ、自然と触れ合う事が出来たり、前年度の反省などを活かした保育が出来た。目標を明確にして取り組むとさらに良かった。
幼稚園教育要領に基づいた指導方法および幼児への対応	B	一人一人に合った保育を行うことが出来たと感じる。職員同士で子どもたちの様子を共通認識できるよう情報を交換しながら、前年度の教育を振り返り指導計画を立てるようにした。様々な教材を活用し、まわりの自然環境を生かしたより豊かな教育ができるよう個々の職員への指導が必要とされる。
幼稚園の流れおよび教育週数	B	1日の流れは学年ごとにカリキュラムがたてられておりスムーズに園生活を送れていると感じる。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園となってしまう3学期の教育日数が減ってしまいクラスのまとめができずに年度を終了してしまった。
行事計画や実施・実態について	B	毎年年間行事を職員で見直し、今年度は行事を減らしカリキュラムに少しだけ余裕ができ日々の保育に取り組みやすかった。全体の行事では兄弟のいる家庭に配慮を行い、保護者の意見を聞きながら行事を計画できると良い。それぞれの行事の反省を次年度につなげていく必要がある。

運営・学級経営・組織、体制について	B	<p>補助教諭を増員したことにより視野を広げて保育をすることができるようになった。職員人数が増えたことにより、勤務時間の違いから打ち合わせ時間がとれず情報共有や認識不足している部分があった。</p> <p>行事や自由遊びで異年齢での交流ができ、良い刺激となっていた。もっと異年齢で過ごす時間が増やせると良い。</p> <p>安全面では避難訓練は定期的に行っているが、火災想定でのものがほとんどのため、他の災害（地震・津波等）の場合や訓練時間の変更（昼・帰りの時間など）、また不審者の対応なども行っていく必要がある。</p>
園内研修・園外研修	A	<p>定期的に職員が研修に行くことができ、日々の保育に役立てることができた。</p> <p>園内では毎週の会議の中で職員同士で話し合う場を設けているが、代表で研修に行った先生からの情報を共有したり、園内での取り組みをもっと取り入れていくと良い。</p>
子育て支援・地域との繋がり・情報発信	B	<p>ホームページや園だより、クラスだより等で幼稚園の様子を発信していた。</p> <p>幼稚園解放では、季節に合わせた遊びを設定し、地域の親子が参加出来るようにした。</p> <p>解放日を行う季節や日程を検討しても良いと感じる。</p> <p>各専門機関との連携を取り、保護者にも情報を共有し子どもの成長に向けて取り組みを行っていた。幼児の家庭や、守秘義務を守り、適切に管理されている。</p>
個人情報等の管理	A	<p>幼児指導要録の作成についても適切な時間、方法で作成できている。</p>
園舎・園庭の安全管理	B	<p>園庭の遊具等の点検を定期的に行い、危険がないように設備、管理していた。遊具が木造の為、ささくれ等の処理をする必要がある。</p> <p>室内玩具等が破損していたことがあったため、定期的に確認を行う必要がある。</p> <p>避難訓練の際に、消火器具の点検を行っていた。</p>
他校種との交流	B	<p>小学校との繋がりを大切に情報交換や、引き継ぎなどに向けて取り組みを行っていた。</p> <p>年長児が給食体験や学芸会などの行事で訪問することがあり、就学への期待付けに繋がった。</p> <p>P連での他園児とのふれ合いや、高校生の職業体験、老人ホーム施設への訪問等、交流する機会が多くあり、地域との繋がりを感じる事ができた。</p>

◎評価結果の表示方法

- A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分ではない
D 取り組みが不十分である

《4. 総合的な評価結果》

評 価	理 由
B	各年齢に応じた教育・保育内容に適したより具体的な環境構成を整えるようにする。特に、外遊びの工夫を考える必要がある。

《5. 今後取り組む課題》

課 題	具体的な取り組み方法
各年齢に合わせた環境構成を整える	各年齢に応じた教育・保育内容に適したより具体的な環境構成を整えるようにする。特に、外遊びの工夫を考える必要がある。
教職員の資質向上	日々の細かな伝達や保育の仕方等の職員間での共通理解を深めていく。昨年度同様、園外研修に積極的に参加することで資質向上を目指す。

《6. 学校関係者の評価》

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められている。

《7. 財務状況》

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。